

製作から運用、新製品の提案まで行う水処理プラントメーカー (協和機電工業 株式会社)

会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地:長崎県長崎市川口町10-2
- 代表者:代表取締役社長 坂井 秀之
- 資本金:5,000万円
- 売上高:110億円(連結)
- 従業員数:430名
- URL:<http://www.kyowa-kk.co.jp/>

①事業概要

＜水処理システム、電気システムの製造・販売＞

協和機電工業株式会社は、昭和23年に長崎県において創業。水処理技術と電気エネルギーをコアテクノロジーとして、水処理関連事業を官公需と民間工場において展開している。

水処理の分野では、上下水道施設、簡易水道施設、公共下水道施設、産業用排水処理プラント等幅広く扱い、全体の設計から、製作、施工、修理、保守、販売まで手がけている。

電力関係でも、発電所建設、変電所メンテナンス内燃力機関、水力発電、火力プラント建設、制御機器製作等も手がけている。

また、新しい取組として、水処理システムと新エネルギーを組み込んだマイクログリッド分野の事業展開をスタートさせている。

②海外展開概要

＜中国・東南アジアへの現地法人等設立＞

同社は、今後大きな需要が見込まれるアジアへ展開するため、平成15年、香港に協和(香港)を設立、中国深圳市には中国深圳エンジニアリングセンターを開設。主に、設計事業や、工場排水処理プラント等の施工管理を実施。

平成19年には協和環境諮詢(深圳)有限公司を設立し、深圳市を中心に、水、省エネに関するコンサルティング及び技術サービス、水・省エネに関する機器・装置類・消耗品類等の販売、水処理機械設計(CADセンター)、電気設計(CADセンター)を手がけている。また、上水・中水・下水・排水リサイクル施設の施工等を展開している。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

同社の強みは、高い研究開発能力に加え、システム設計・施工・施設運営までの一貫したワンストップ型の問題解決力を有する点であり、顧客のニーズに包括的に対応できる体制を整えていることにある。

また、イノベーションの創造に注力しており、国内外でのイノベーション創出に向け、様々な挑戦を続けている。例えば、NEDOの「省水型・環境調和型水循環プロジェクト(平成21年)」や「第2回イノベーション推進事業(次世代戦略技術実用化開発助成事業)(平成21年)」にも挑戦し、採択されるなど、同社の技術力・開発力は国内外で高く評価されている。

④今後の事業展開について

中国深圳市を拠点として、中国華南地域を中心に事業を展開していく。中国と日本それぞれの良さを組み合わせて最適化し、第三国への展開を目指す。また、香港、中国に加えてインドネシアに進出を計画。東南アジアを視野に入れている。

【主力製品】



【海水淡水化施設(まみずピア)】

(平成24年10月現在)

データ出所:九州経済産業局